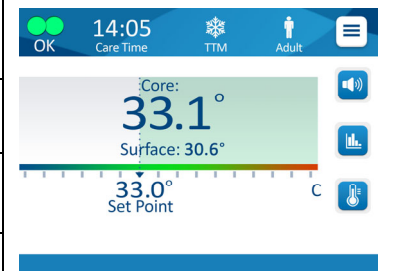


**目標温度管理：CRITICOOL® 成人用ステップバイステップ**

適応：CriteCool は、患者の体温のモニタリングおよび制御に使用される体温管理システムです

1. ウォータータンクを滅菌水/0.22 ミクロンで濾過した水で満たします
2. CriteCool 装置を希望する場所に配置し、前輪をロックします
3. システムの電源を ON にします。短いセルフテストの後、“Select Mode”画面が表示されます。CriteCool 内部の水の冷却が開始します。
4. 適切な CureWrap® を選択し、ベッドの上または患者の下に配置します  
(CureWrap の取扱説明書を参照してください)
  - CureWrap のクランプが開いていることを確認してください
  - まだ CureWrap を患者に固定しないでください!
5. Core ケーブルをシステム右側の Core ソケットに、Surface ケーブルを左側の Surface ソケットに（色を合わせて灰色と灰色、緑色と緑色を）接続し、次に温度プローブを適切なアダプタケーブルに接続します。
6. Core プローブおよび Surface プローブを患者に接続します
  - Surface プローブを CureWrap の下に配置しないでください
  - Core の測定値がないと、CriteCool は体温を調節できません
7. ウォーターホースを CureWrap および CriteCool 装置に接続します
  - 水が自動的に CureWrap 内に流入します
8. タッチ画面に戻ります。TTM はデフォルトのモードで、既にハイライトされています。OK をタッチして TTM を選択します。
9. デフォルトの Set Point (SP)は 33°C です。必要があれば、Set Point キーを使用して Set Point を変更してください。
10. CureWrap が水で満たされるまで待ちます-水で満たされたら、CureWrap を患者に固定します (CureWrap の取扱説明書を参照してください)



これで、CriteCool による体温調節が開始します。

注：生理学的反応として、患者の体温がわずかに変動するのは正常です。

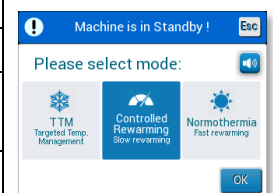
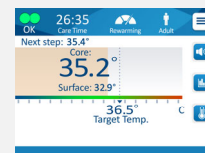
**自動復温**

事前に設定した速度で、患者の体温が1時間ごとに徐々に上昇します。

1. 画面右上のドロップダウンメニューから、**Select Mode** を選択します
2. **Controlled Rewarming** モードを選択し、OK をタッチして確定します
3. "Switching to AutoRewarm Mode" というメッセージが表示されます
  - このメッセージが表示されている間は、まだ復温は開始していません!
4. Core の測定値が有効であることを確認して OK をタッチすると、復温が開始します

これで、必要な目標体温になるまで、患者の体温が徐々に上昇し始めます。

- CriteCool の復温の目標体温のデフォルト値は 36.5°C です
- ユーザーは、Target Temperature キーを使用して、目標体温を 30°C~40°C で選択することができます (取扱説明書を参照してください)
- 復温速度 (1時間ごと) は、臨床プロトコルに従って事前に設定してください
- CriteCool のデフォルトの復温速度は 0.2°C/時です



**手動復温**
**ユーザーは、手動で患者の体温を徐々に上昇させることができます。**

- |    |                                                                                             |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. | ユーザーは、復温プロトコールに従い、目標体温に到達するまで Set Point を手動で上昇させます。                                         |
| 2. | Set Point キーを使用して、Set Point を選択します。<br>• 注：Set Point は、1 時間に 0.2°C~0.3°C の速度で上昇させることが推奨されます |


**メッセージ**
**"Core Readout too Low"**

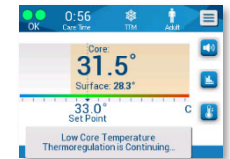
トリガー：	Core の測定値が Set Point より 2.0°C 超低い場合または Core が 31.0°C 未満の場合
意味：	このメッセージは、Core プローブが誤って配置されていることを示している場合があります
影響：	システムは温度調節を停止します。Core が 31.0°C 未満の場合、CureWrap への水の流入も停止します。Core が 31.0°C 以上の場合、CureWrap への水の流入は継続します。

- このメッセージが表示されたときの対処方法：
- Core プローブが患者の体内に正しく挿入されていること、また体温の測定値が有効であることを確認します
  - 必要があれば、Core プローブの位置を調整します
  - 次に、OK をタッチして Core の測定値を確定します
- 自動復温では、OK ボタンをタッチする前に、Core の測定値が正しいことを確認することが特に重要です。Core が正しいことを確認する前に OK ボタンを押すと、体温調節アルゴリズムに影響を受ける場合があります。体温調節が継続し、画面が TTM モードに戻ります。注：システムが引き続き低い Core を測定する場合は、このメッセージが 30 分間ごとに繰り返し表示されます。


**メッセージ**
**"Low Core Temperature. Thermoregulation is Continuing..."**

トリガー：	患者の Core と Set Point との差が 0.8°C 超で 2.0°C 未満の場合
意味：	このメッセージは、Core プローブが誤って配置されていることを示している場合があります
影響：	体温調節は継続します

- このメッセージが表示されたときの対処方法：
- Core プローブが患者の体内に正しく挿入されていることを確認します。
  - 患者の体温に注意続けます。


**使用後のお手入れ：保管前または週に 1 回以上**

- システムのモードを Standby に変更します。数秒間待った後、CureWrap のクランプを閉じて、CureWrap とプローブを患者から取り外します。NaDCC の製造業者の推奨に従って NaDCC をウォータータンク内に入れ、Standby モードで 30 分間作動させます。
- ウォータータンクの排水：Services メニューから Empty を選択します（取扱説明書を参照してください）。タンクの排水が終了すると、CritiCool がアラートを発出します。
- 病院の標準的な手順に従って、CritiCool のクリーニングおよび消毒を行います。

\*本文書は、CritiCool 6.3 の取扱説明書全体を読むという要求事項に代わるものではありません。